三島作
図画
命
芝五郎
美九郎
一
13
2378
128

遠3
2378
128

腕離式心命

文客 式亭三馬作

畫人 歌川國滿繪

甚五郎

東京都立中央図書館
特別文庫

腕離一心命卷首

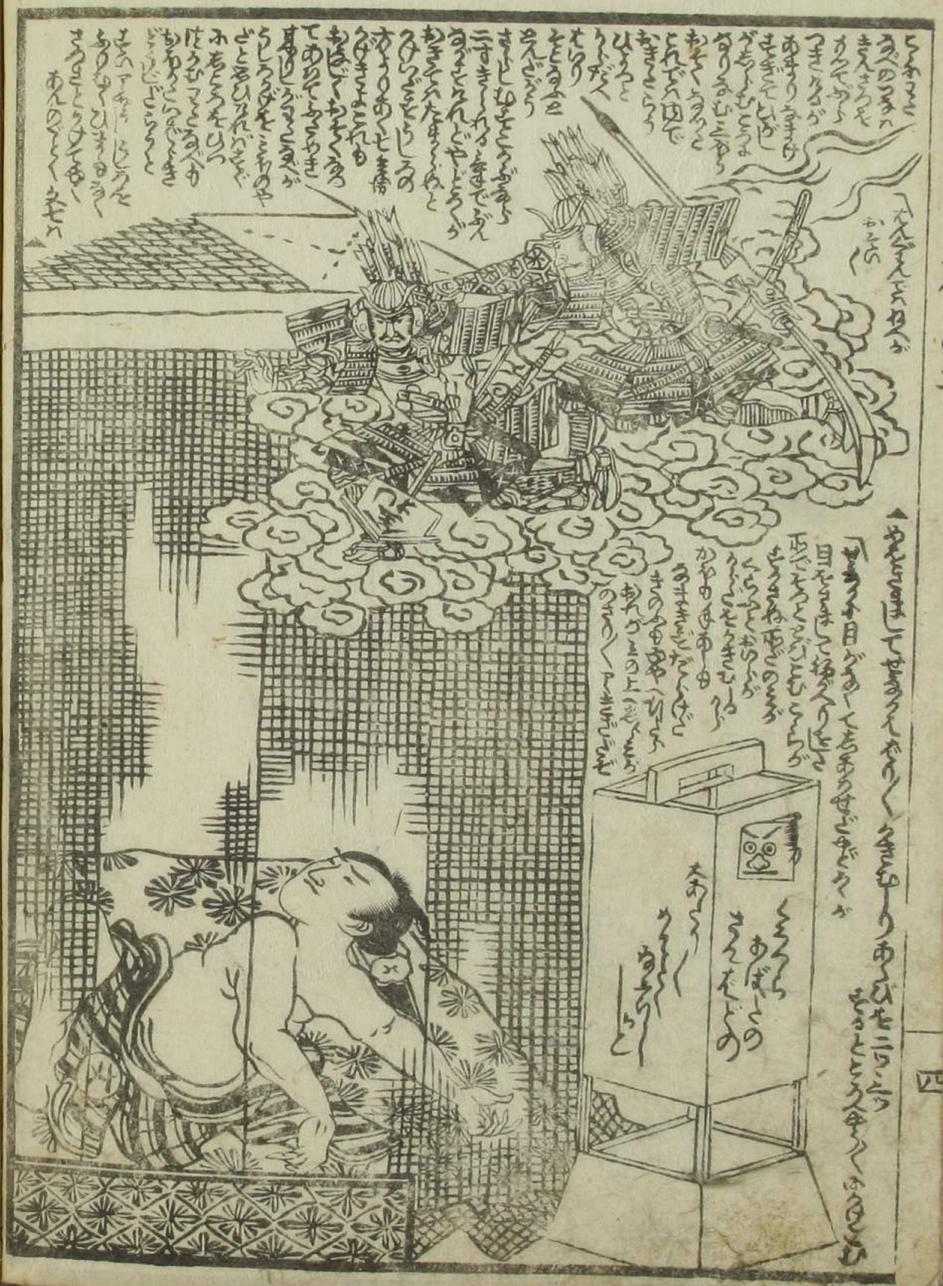
水と飲む龍。草と食む馬。虚の宣うやうに孤ども。何でも角でも古佛と。書百ち作りふ如くの侍とあつて傳説ハ非情も有情の霊宝道。ごとく言ふて皆甚五郎が手柄なるべし。其ぬけ出て離物も羽の生る繪草紙も。飛彈の匠ち奇巧なるも。下手ち作者の無器用あるも。高拙さ不拙とも。頭痛抹額歯と浮しく。魂後生糸とゝ[illegible]ぶ[illegible]。針も棒ほどあるとも。皆ち拙一ん命ふ[illegible]ぞ[illegible]ゝ爾

文化七年庚午肇春

石町のやぶうちにおいて

式亭三馬記

柿
有
大
有



さてもゑぜの師の
百ハお百とゆひて
ひろ女がつれてまゐし
かつぎをらると鬼女の
ぐんちゃくうるとさんぐて
ひろうろうきもをつもれ
しくゝゝ弁女合をうつび
るるさをがハえせ
すの所のこゝらを
ないこちろ
うれハ又一つのうく考え
おこうこいろハ一ぐん
ゑうまろうけのこぢ
と大きゆよろこび
くまの不ぐぞうえ
をあやまりみ
うえのこもあていろ
ごとゝ出うけぐぞるぐ
べつこうにとろおきる
ぞうこんもあんとうの
ぼうこんるぶハ
きえるれぐも
これがひぐうもこ
のうりのゆ会
ゆをらうをのやうた
たちぎえもるぶぞかもの
かゝぶへハくられぐふぐが
でもるく考れでも
るくかとこうゞハホ
われぐへハうれみしぐうと
ゑゝれ女房きぐうである

浄瑠璃
道行比翼の面頭
作者もあうきも
きいてごらん

易く解難し

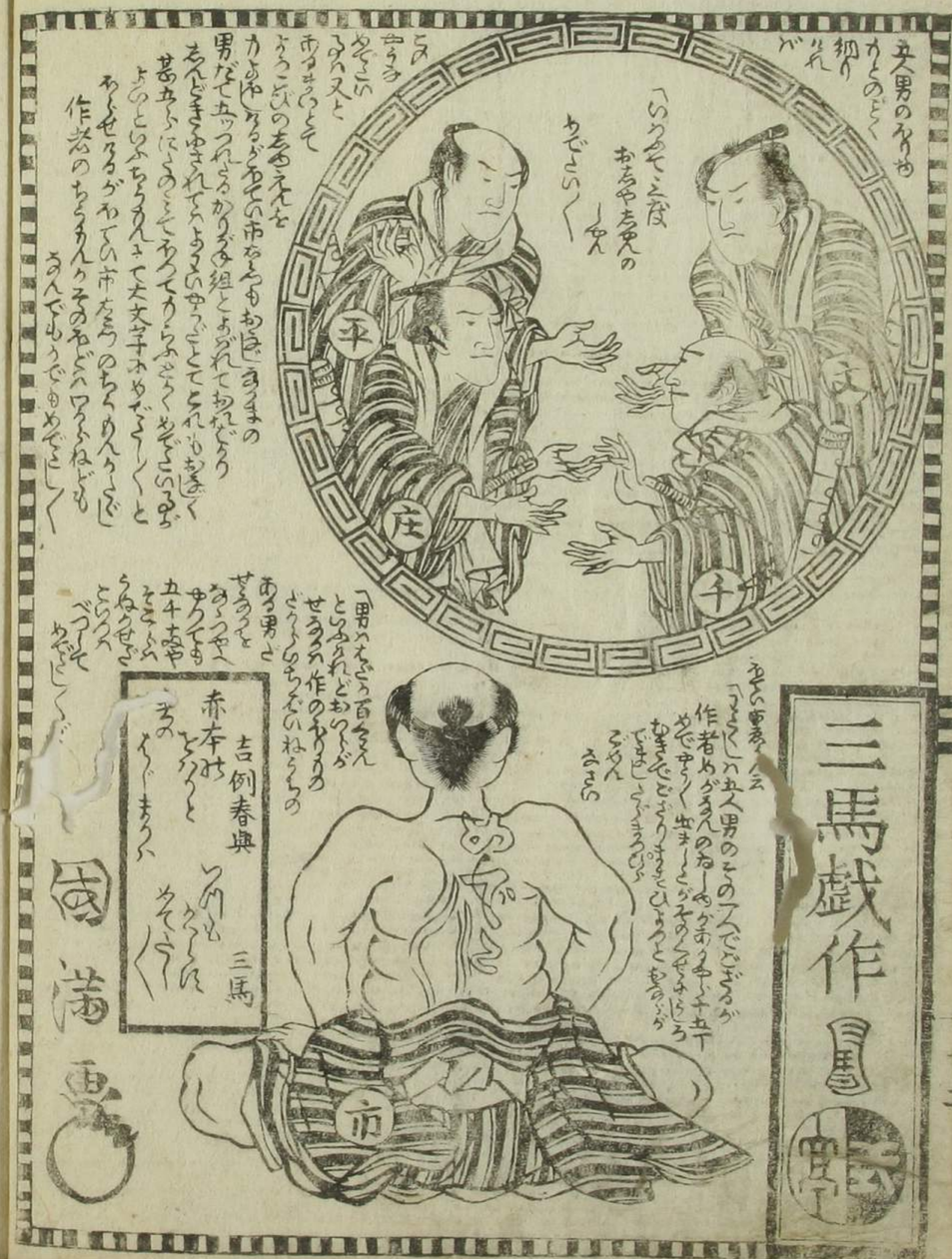
鶴

巻之三

楠

大文字のあらまし
一心念
あき店ばかり大きさらくき

雷様



文化七年庚午春新版

繪入讀本

流轉數回阿古義物語

全部八巻

一名大磯十人斬

式亭三馬編　歌川豐國画　歌川國貞画

土佐節の二河白道　豐後節の高尾懺悔　却説浮世之助話

全六冊　式亭三馬作　歌川國貞画

ひらがな　甚五郎　腕の雕　一心命

全三冊　式亭三馬作　歌川國満画

宗王丸　明月姫　答語兵庫之築嶋

全六冊　式亭三馬作　小川美丸画

純子三本　紅絹五疋　貝花街始末

合本三卷　式亭三馬作　歌川國貞画

右の子淚出板賣出りの出来ぬ高徳之上仕候ゆえ別紙買縁の

雙鶴堂　江戸田所町　鶴屋金助板

文化七庚午歳新梓

女夫池鴛鴦戴　時代摸様室町織　合本二冊　感和亭鬼武作　蹄齋北馬画

三嶋娼化粧水莖　合本三冊　感和亭鬼武作　蹄齋北馬画

滑稽江島土産　全一巻　十返舎一九作

おなぐく　二篇　全二冊

串戲笑話六あそび詣　全三冊　十返舎一九作

近刻

命の洗濯物ハ長家中の寸てくら大屋さ文とさ記ハ立ての上六あそび後嫁とそ〳〵道連わしハ姑孤わざりる吐胴きわり勢ハ文ゝ貧ホつき道へそれ子ハ後生一片ふまりて空ら牛いろしぼれ馬ハ馬連乃れ〳〵〳〵とうぐらもと

田所町　きるゝ金助板